

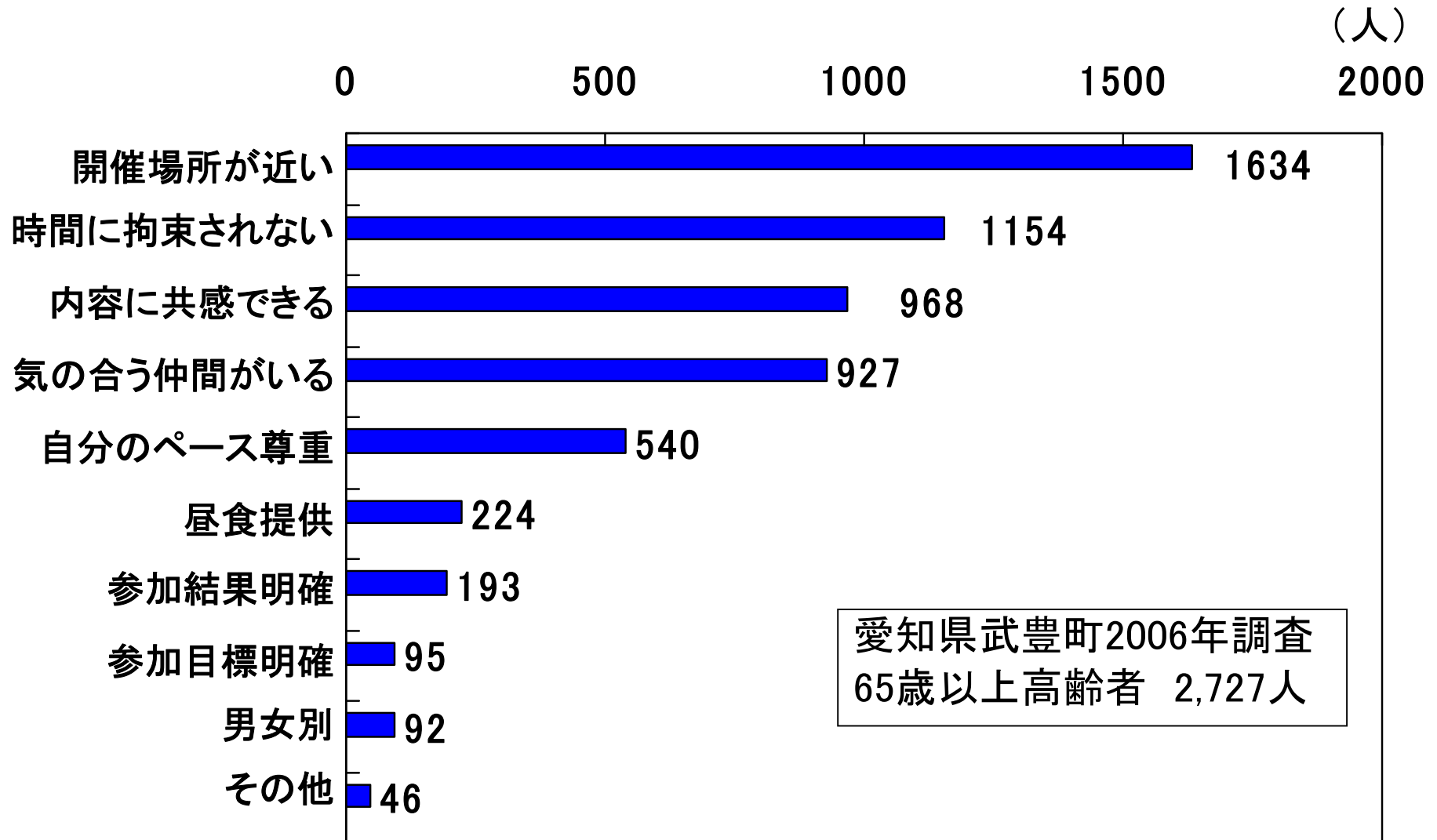
愛知県武豊町における 憩いのサロンの背景・経緯と成果

星城大学
リハビリテーション学部
竹田徳則

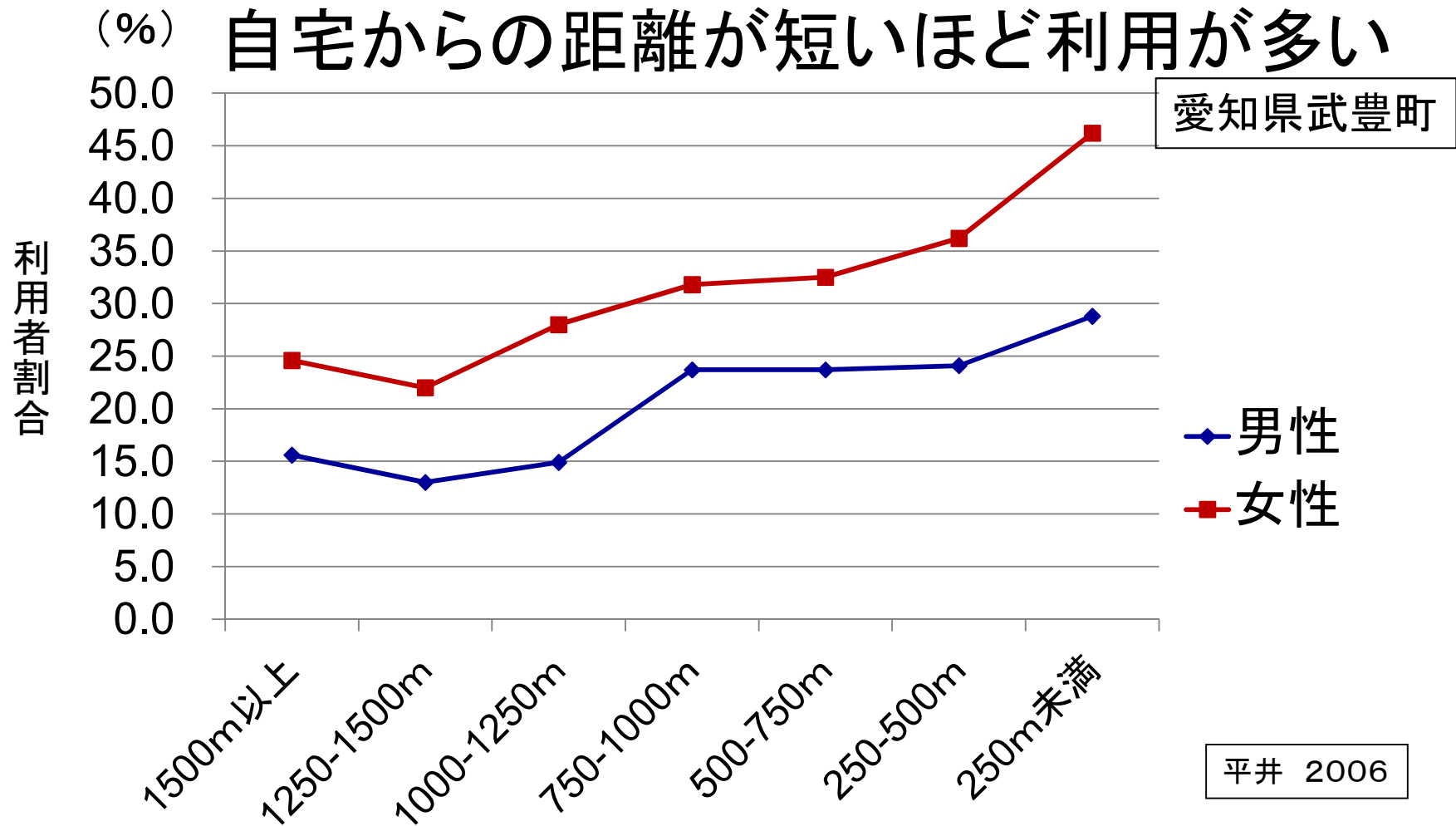
憩いのサロン開始の背景

- 韓国の高齢者は何故外出頻度が高い？
 - ⇒敬老堂 高齢者約100名に1箇所設置
- 武豊町の既存調査データの活用・分析
 - ⇒予防事業参加の条件：自宅から近いこと
 - ⇒新規要介護者・死亡者の1年前の状態
 - ・要介護リスク「なし」が半数
 - ⇒ハイリスク戦略のみでは不十分
 - ポピュレーション戦略も必要
 - ⇒要介護認定発生には心理・社会的要因が関連
- 高齢社会では高齢者の出番・活躍の場が必要
- 地域づくり・まちづくりにつながる事業が必要

介護予防事業への参加条件

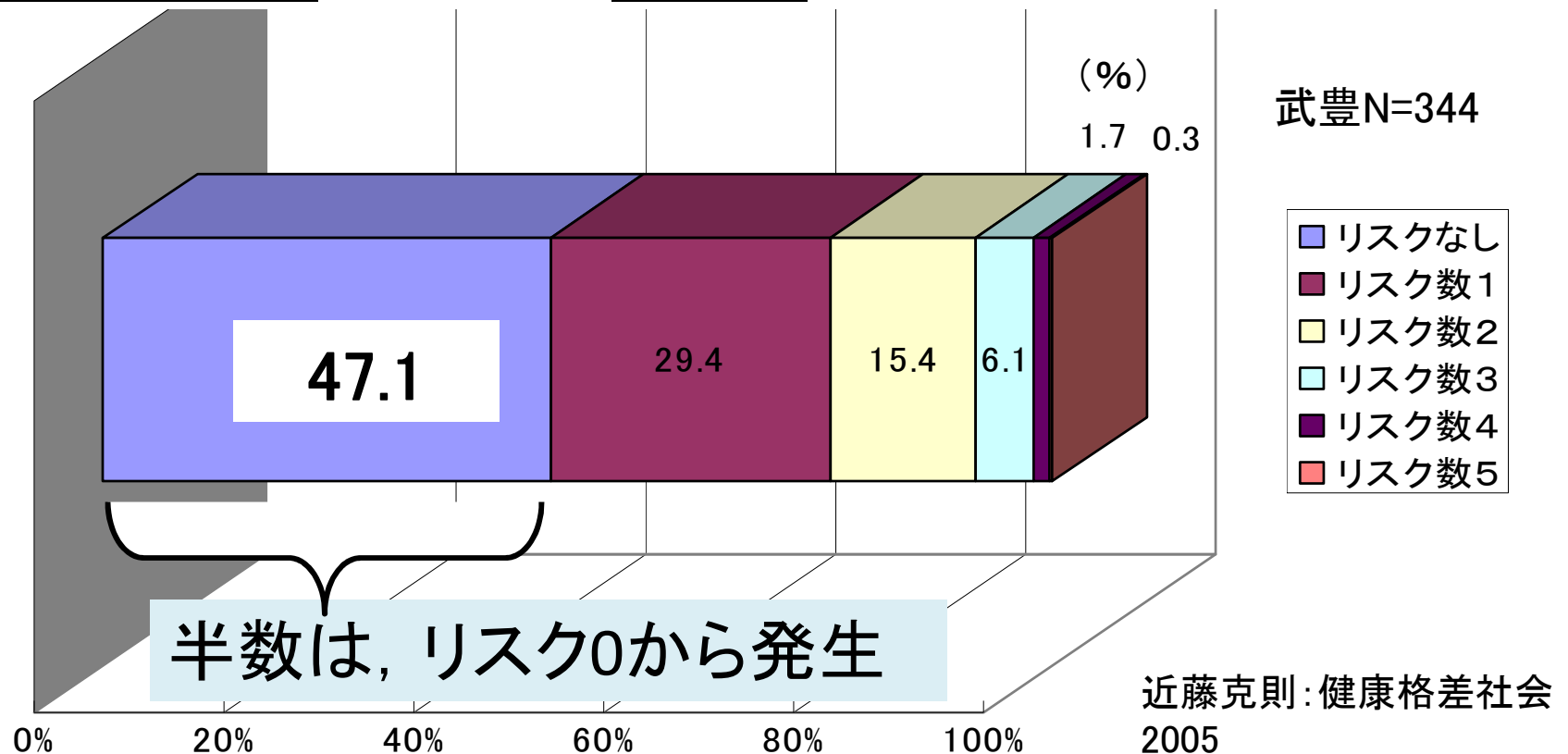


保健センター等施設までの 距離別利用割合



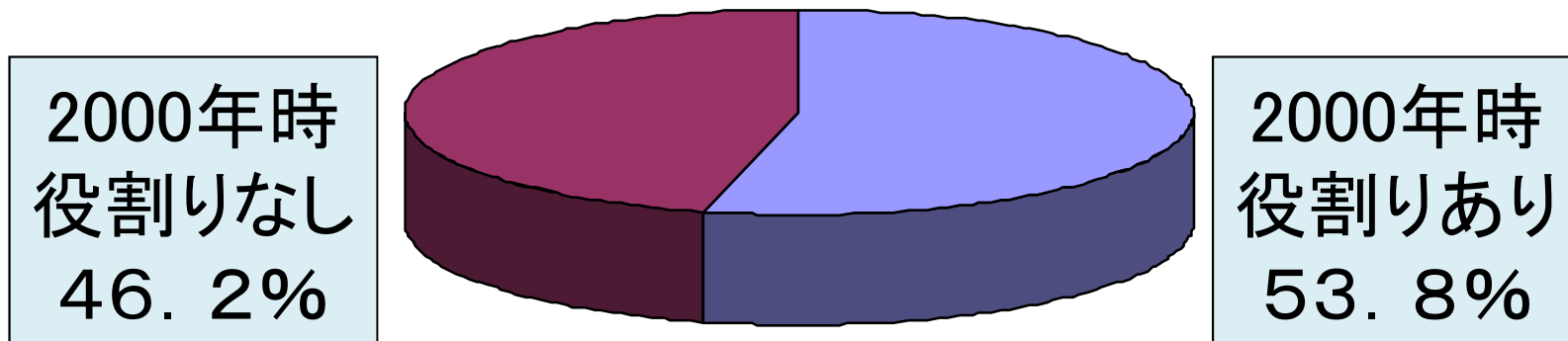
新規要介護者+死亡者の 一年前のリスク数

ポピュレーション戦略とハイリスク戦略両方による介入が必要

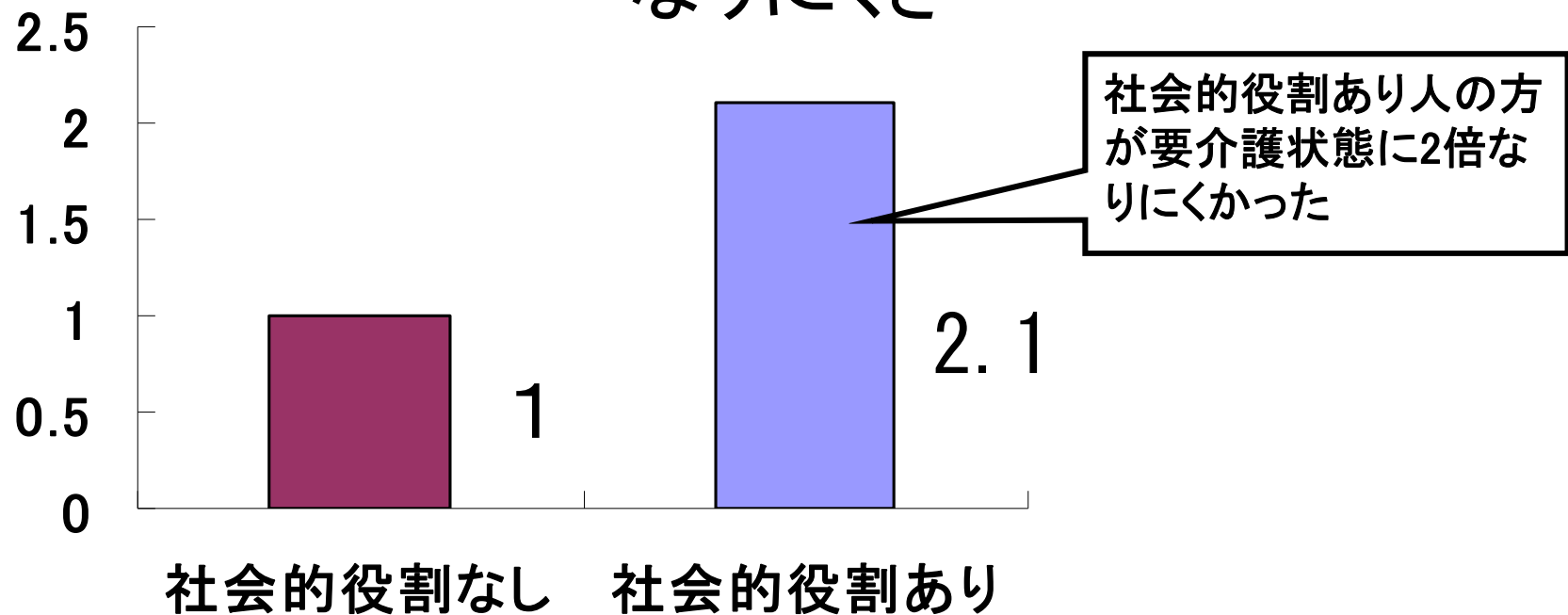


* 使用リスク・・・何度も転倒あり, うつ状態 (GDS>10), 外出頻度が週1回未満, 低栄養 (BMI<18.5), 口腔状態 (あまり噛めない)

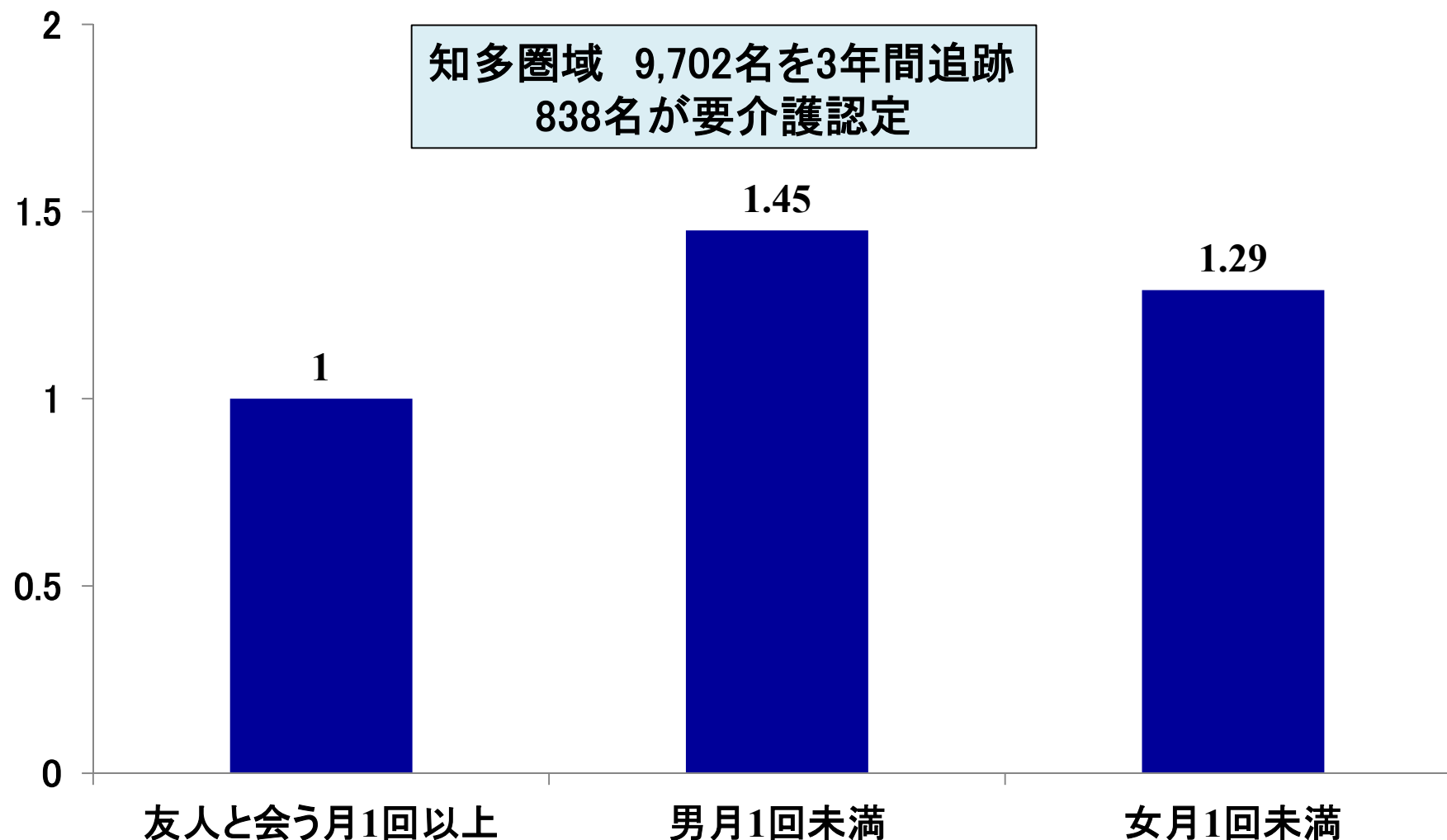
社会的役割と健康



5年後の要介護状態への なりにくさ

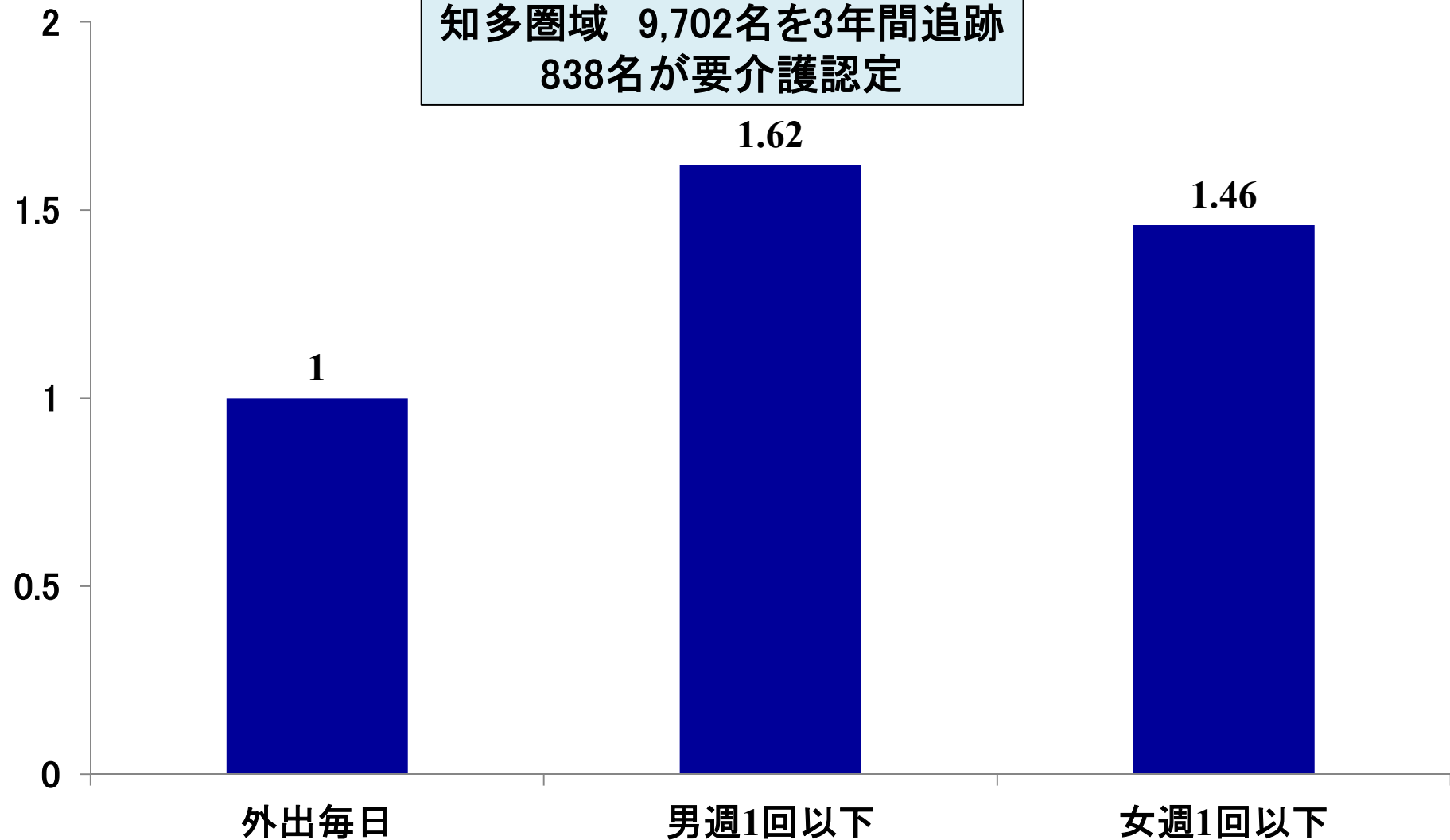


要介護状態発生の確率 友人と会う頻度

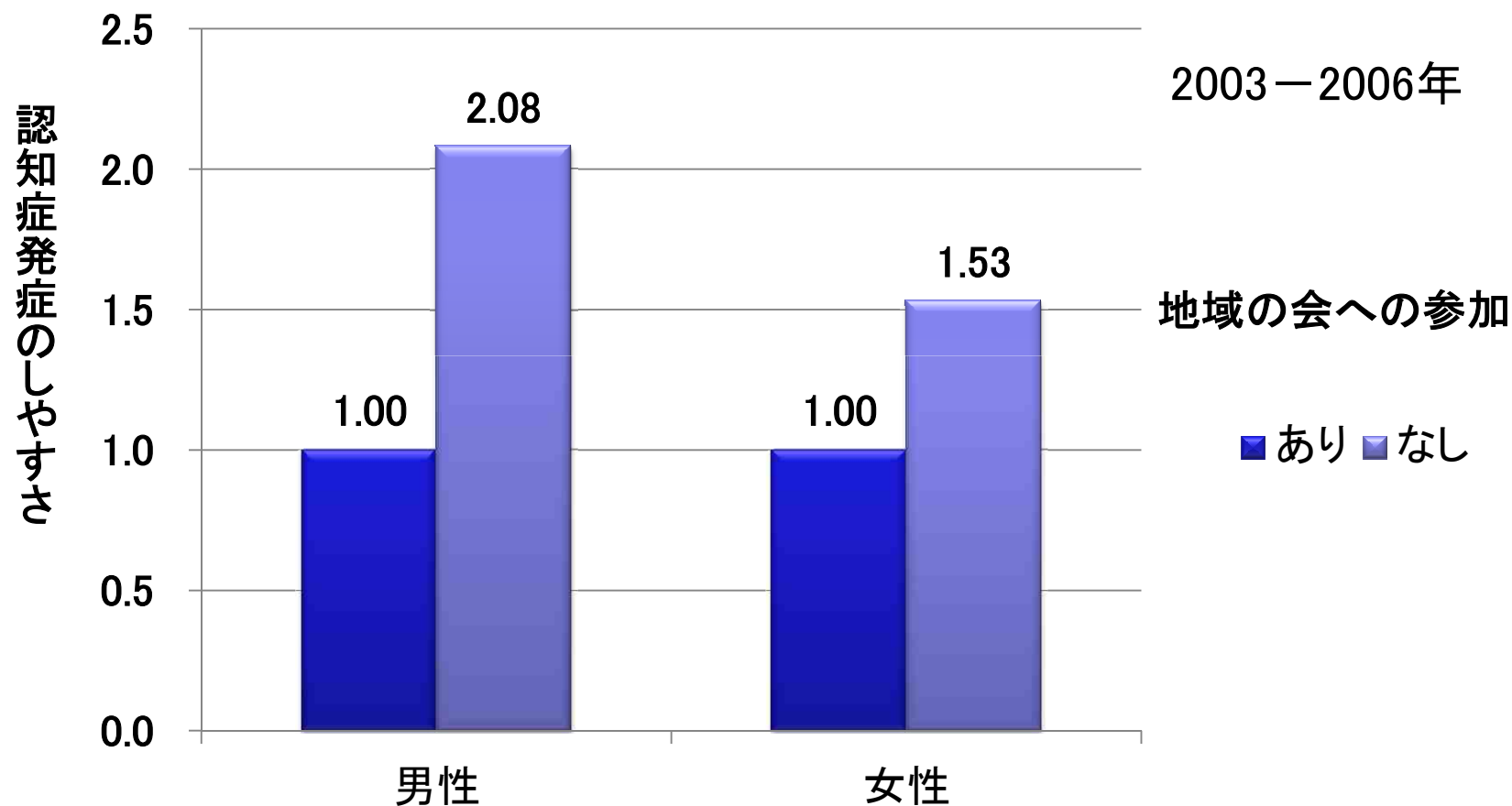


要介護状態発生確率 外出頻度

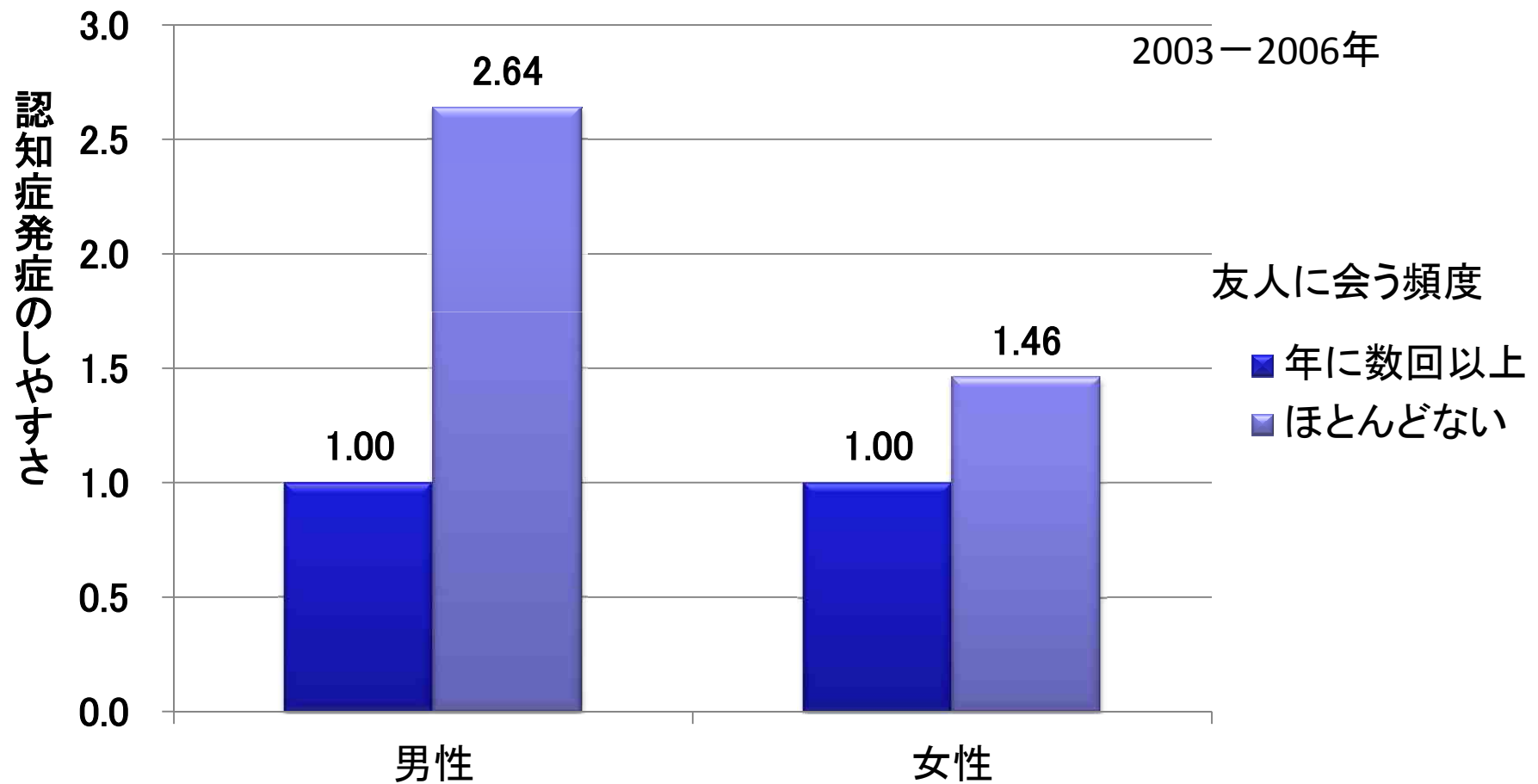
知多圏域 9,702名を3年間追跡
838名が要介護認定



地域の会への参加と認知症発症 (3年間の追跡)



友人と会う頻度と認知症発症 (3年間の追跡)



ポピュレーション戦略による介護予防

- 人口約4.2万人高齢化率21.5% (2012)

- ＊ 個人プラス環境に介入

- ⇒ 小規模でも近くに拠点を整備して
アクセスを改善

- ＊ 自由な発想で多彩なメニュー

- ＊ 住民参加型(ボランティア)・町が支援

- 2007年度3会場開所
- 2008年度2会場開所
- 2009年度2会場開所
- 2011年度1会場開所
- 2012年度2会場開所
- 2014年度1会場開所 (2015年3月末: 11会場)
- 2015年度1～2会場開所 (予定: 計13会場)
- 月1～2回開催 90分～2時間
- 1回平均60名程度参加



サロン開催場所(2014)



- ・ 2007年度3会場開所
- ・ 2008年度2会場開所
- ・ 2009年度2会場開所
- ・ 2011年度1会場開所
- ・ 2012年度2会場開所
- ・ 2014年度1会場開所

計11会場

◆ サロン会場

憩いのサロン開所までの経緯

- 2006年 1月：武豊町第3期老人保健福祉・介護保険事業計画
「憩いのサロン事業」実施決定
武豊町介護予防モデル事業計画介入研究会開始
- 2月：武豊町介護予防モデル事業計画準備会議月1回開始
- 3月：先行事例のサロン見学
- 8月：55歳以上住民対象悉皆調査 ボランティア可能者把握
- 10月：憩いのサロンを町広報誌で広報
- 10月：サロン住民説明会 62名参加 サロン概要・住民主体・
ボランティアの効用
- 11月：ワークショップ① 先行事例のサロン見学
- 2007年 1月：ボランティア募集 ワorkshop②
ボランティア養成研修 37名
- 2～3月：サロン会場毎で準備委員会 担当サロン3会場
- 3月：ワークショップ③ 26名参加 各サロンでの内容を発表
- 5月：ワークショップ④ 45名参加 開所に向けた最終確認
- 5～6月：3会場で開所
- 2015年 3月：11会場で開催

支援組織内容

憩いのサロンボランティア
交流会(総会) 運営協議会



ボランティア
募集
研修企画

社会福祉協議会



場所・資金
提供
サロン広報
情報発信

行政



地域高齢者
サロン説明
サロン広報

地域包括支援
センター

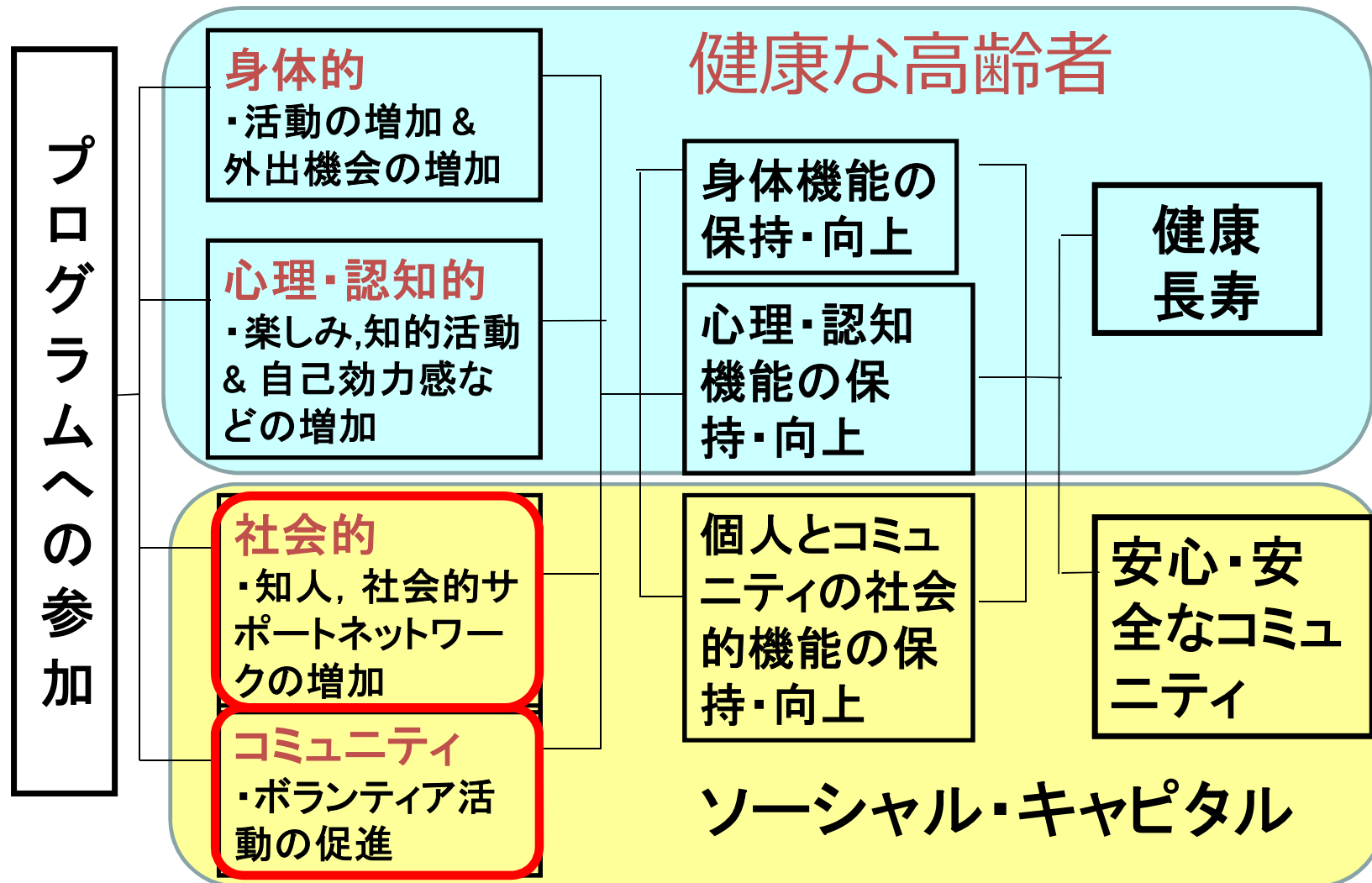


サロン運営
助言 分析
研修講師

大学関係者

介護予防モデル事業計画準備会議
現: サロンプロジェクト会議

介入→中間アウトカム→最終アウトカム



サロンを活用した介護予防プログラム理論仮説

サロンの合言葉



- ◆ みんなの笑顔があふれるサロン
- ◆ ひとりひとりの思いを大切にするサロン
- ◆ 人と人とがつながる出会いのサロン

活動風景

ワークショップ

受付



作業活動
折り紙



開所時
町長挨拶



活動風景



青竹細工

活動風景

押し花



青竹細工



押し花



ぞうり編み



七夕かざり

活動風景



健康体操

活動風景



活動風景

終了後の
ボランティア
ミーティング



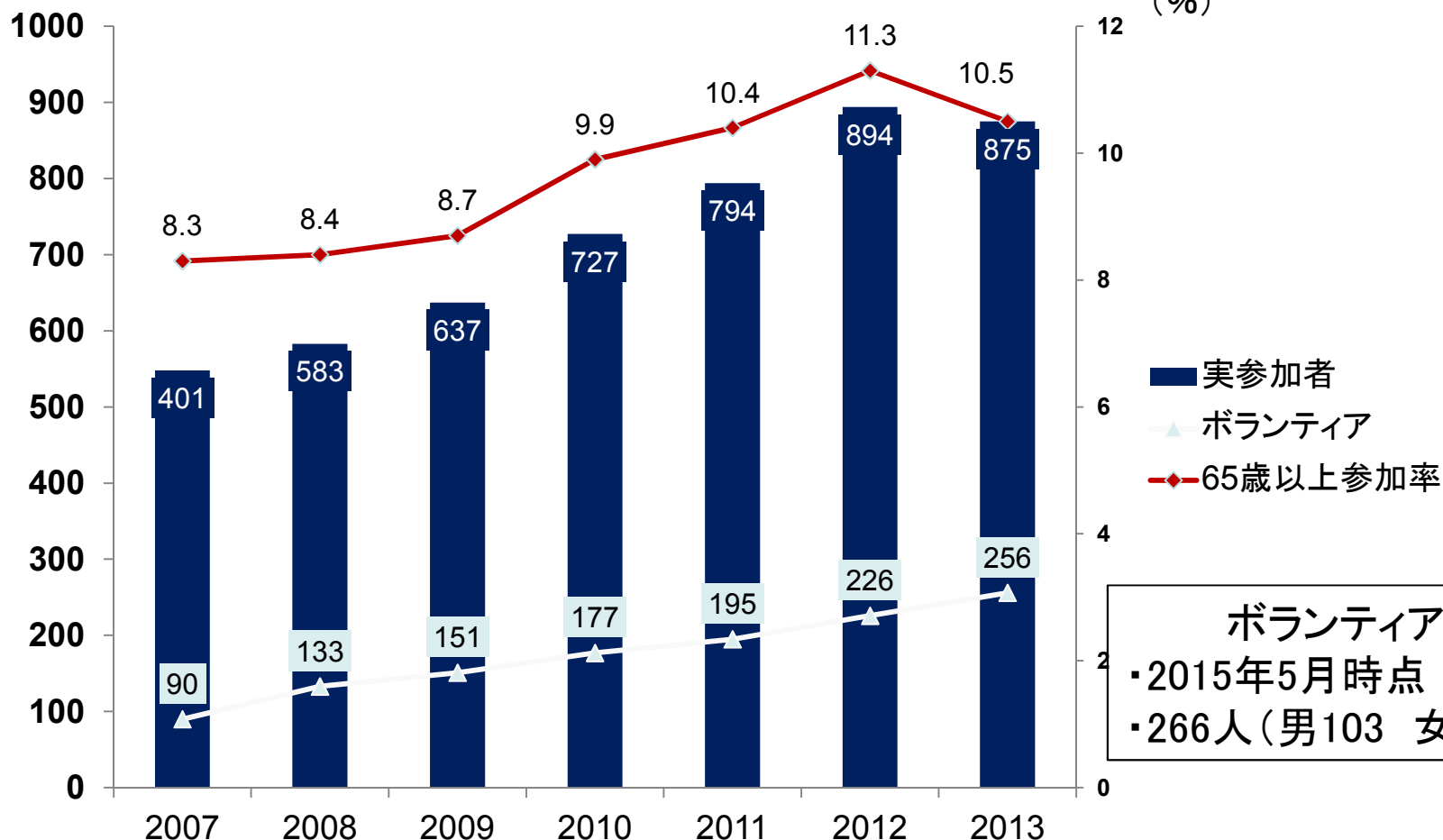
男性参加者増対策
・個別プログラム
囲碁・将棋・書道
・体操限定サロン
(女性参加多い)

開所1年間は地域包括センター
職員が中心でフォロー 2年目から委託

サロン実参加者数・65歳以上人口に占める参加率・ボランティア数の推移

(人)

(%)



サロン数

3

5

7

8

8

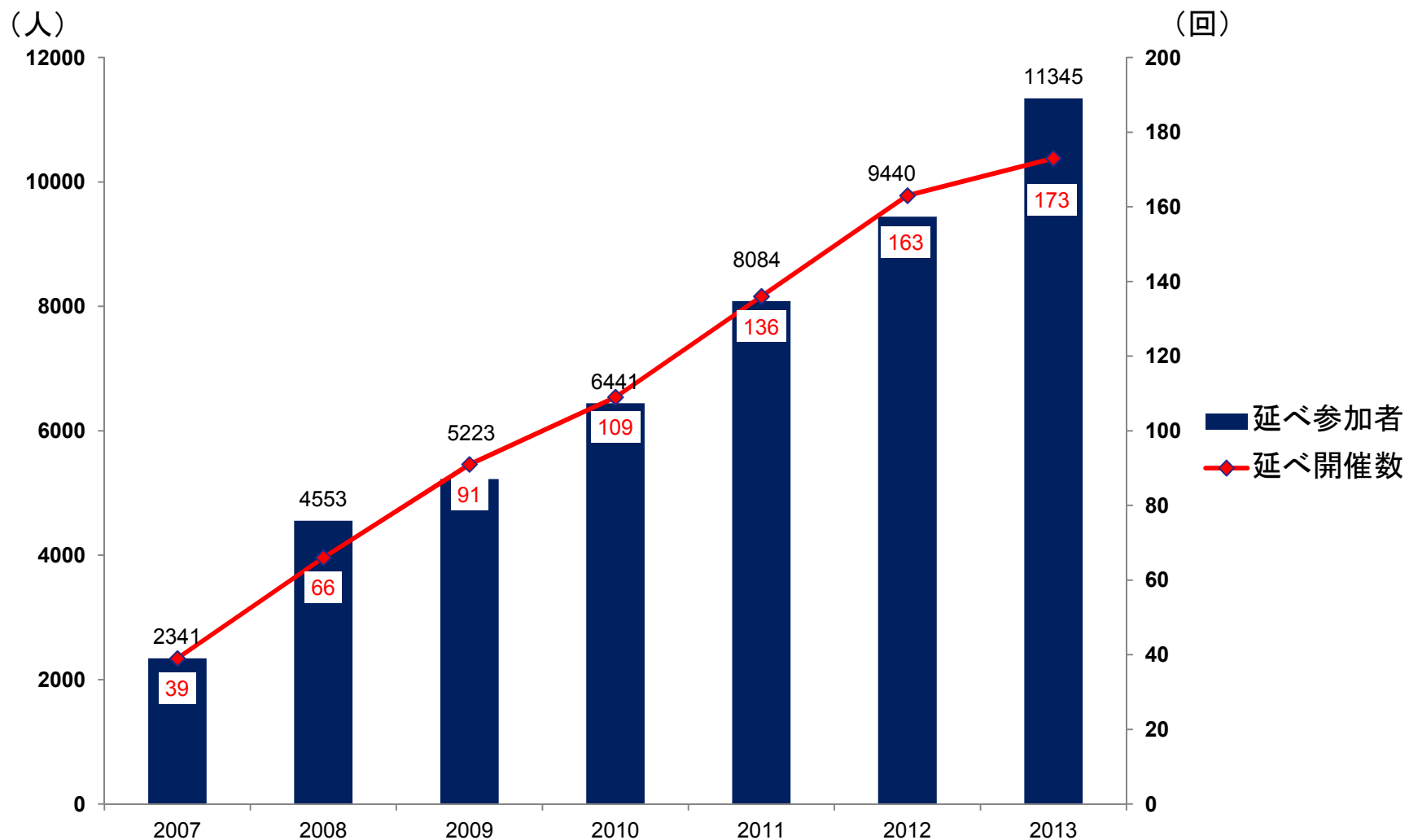
10

10

ボランティア
・2015年5月時点
・266人(男103 女163)

武豊町データより作成

サロン延べ開催数と延べ参加者の推移



サロン数

3

5

7

8

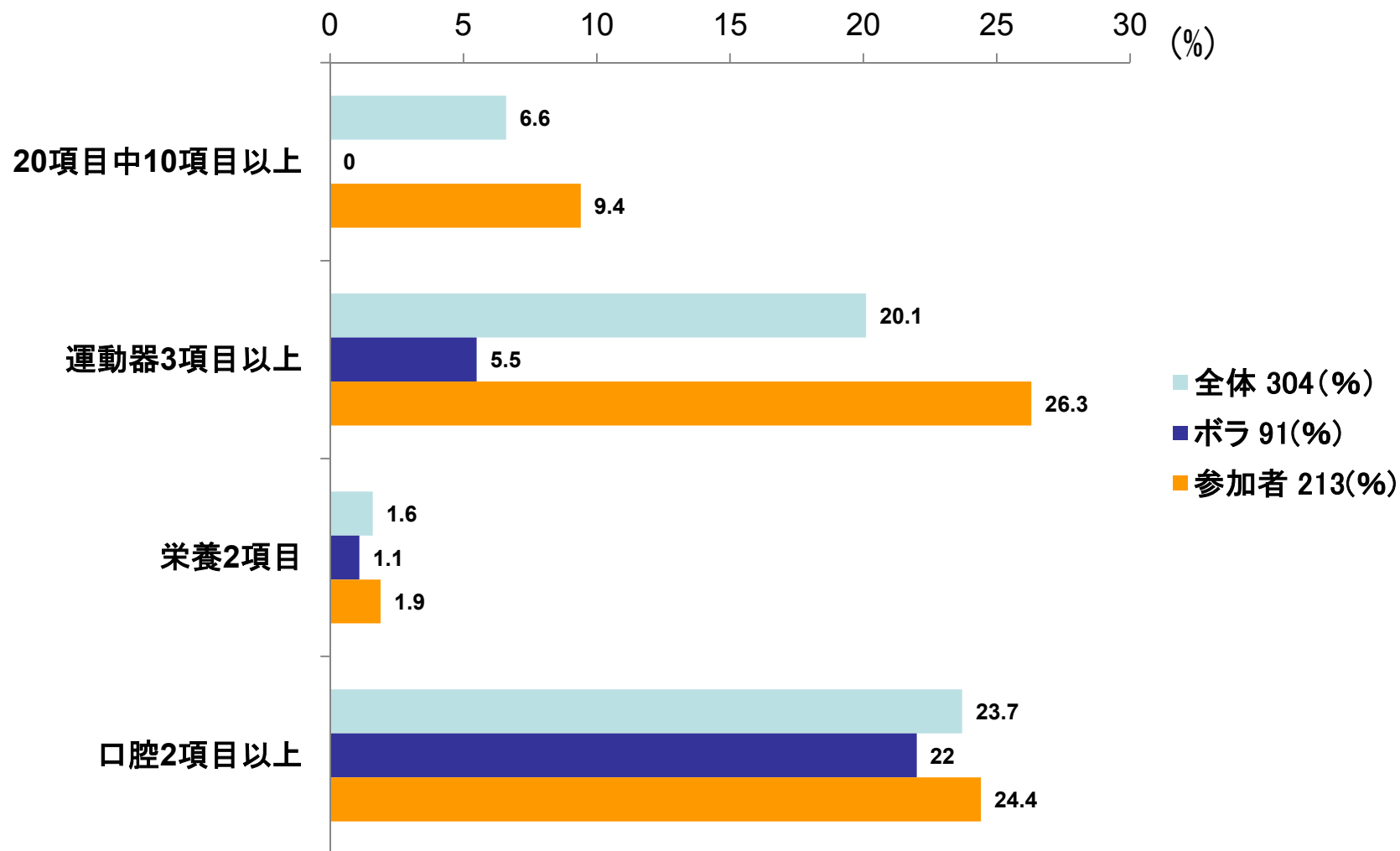
8

10

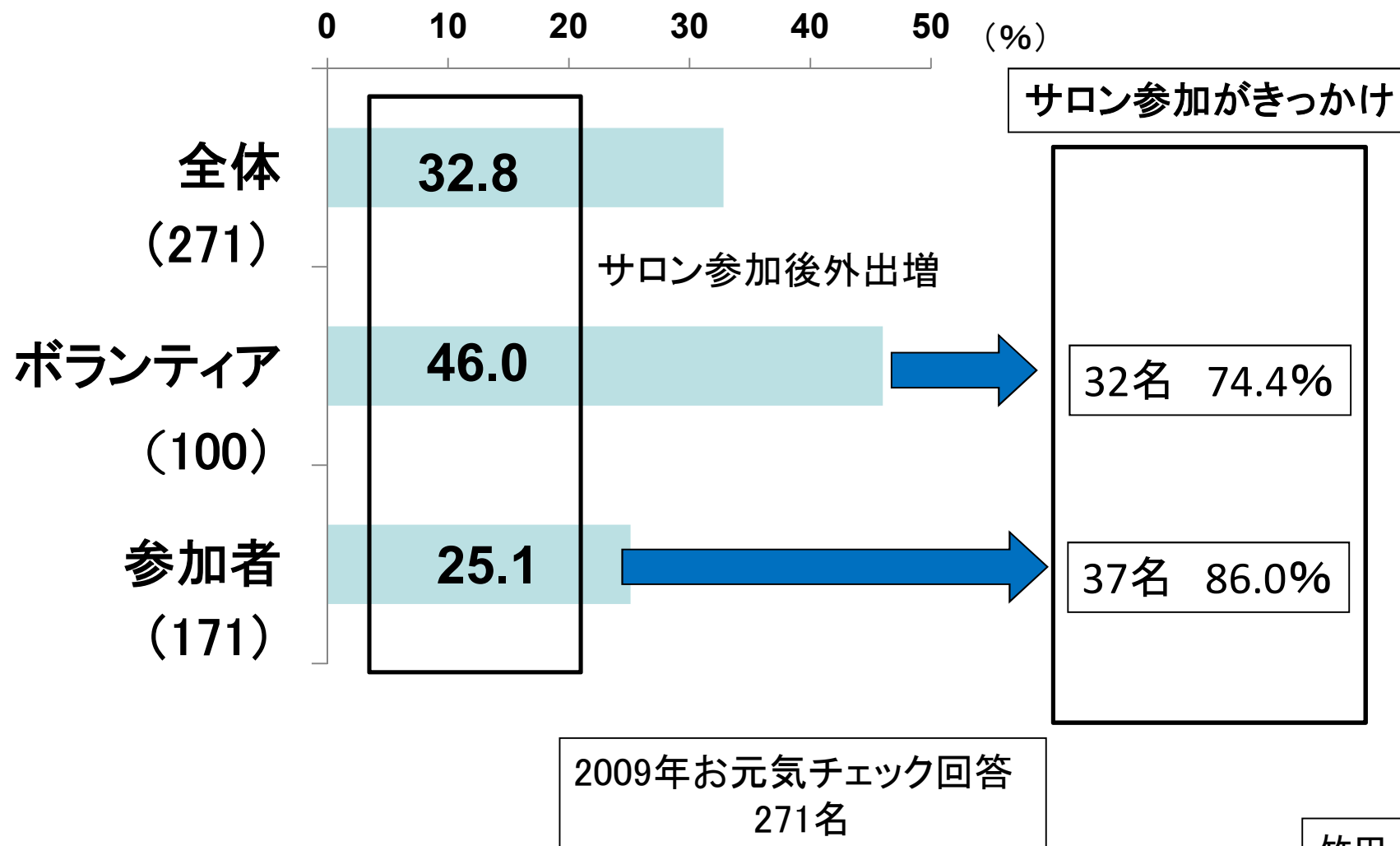
10

武豊町データより作成

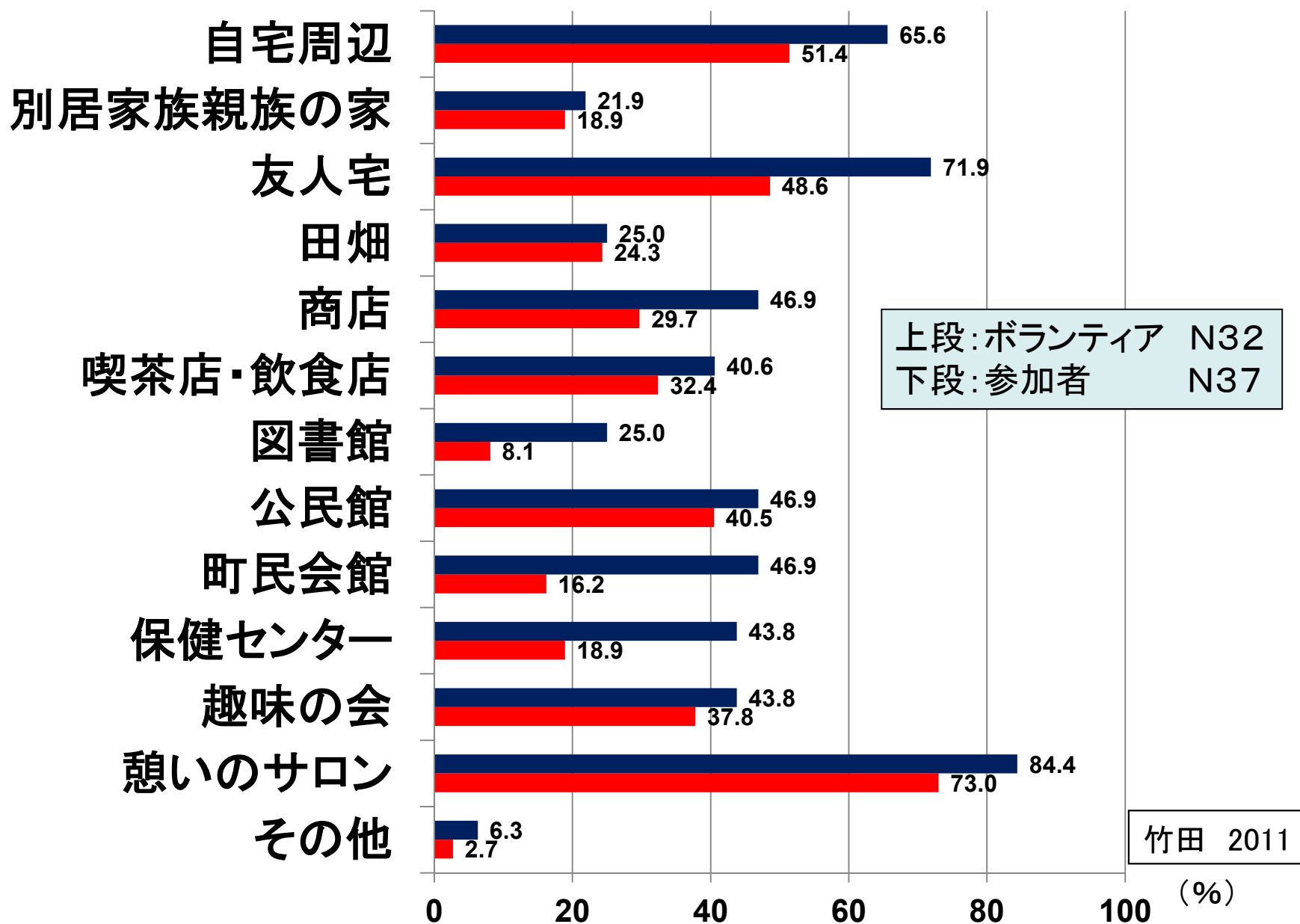
2013年お元気チェック者 基本チェックリストリスク者割合



サロン参加で外出が増えた割合

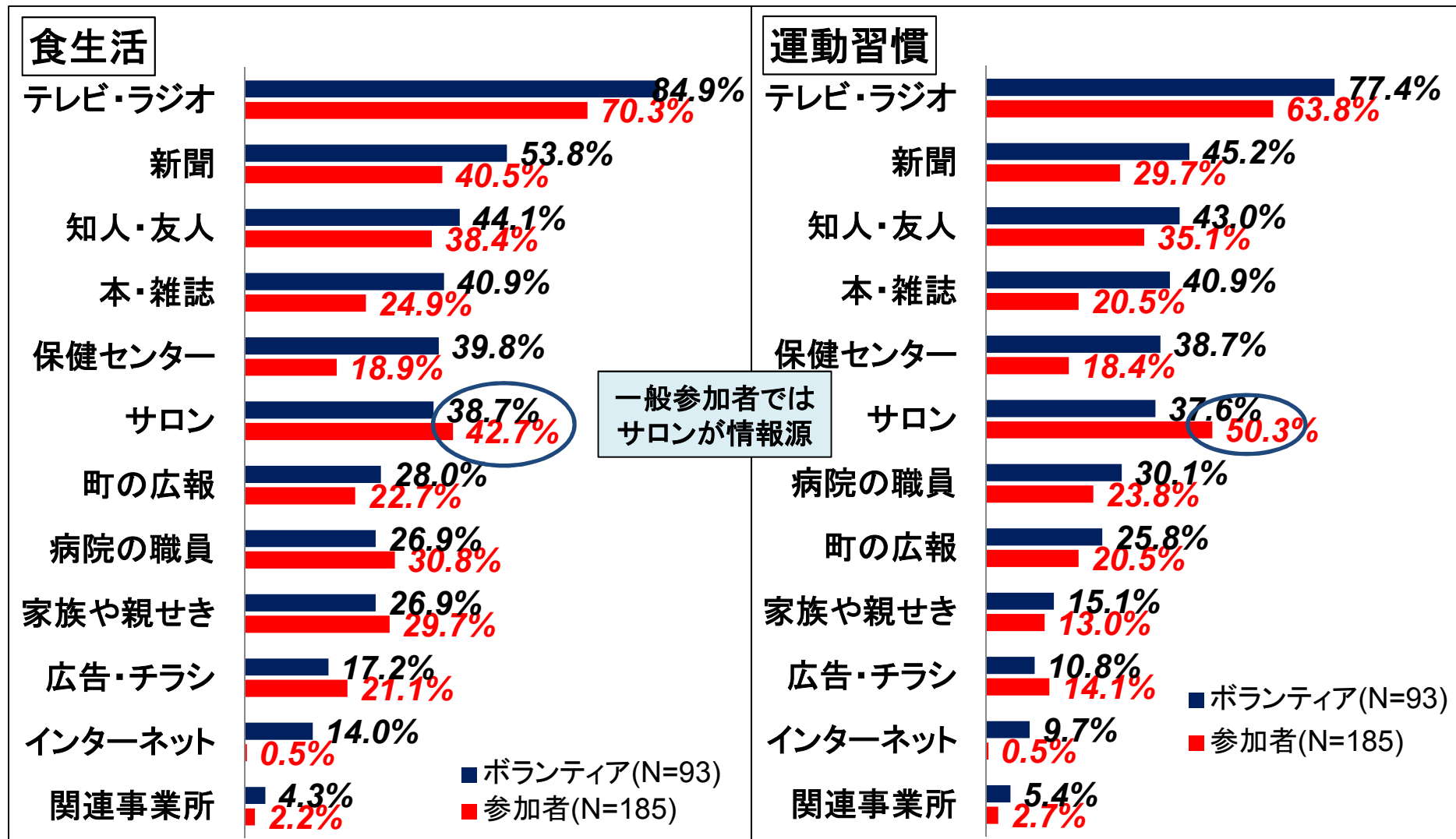


サロン参加で増えた外出先



健康によい食生活/運動習慣に関する情報源

2011年お元気チェック



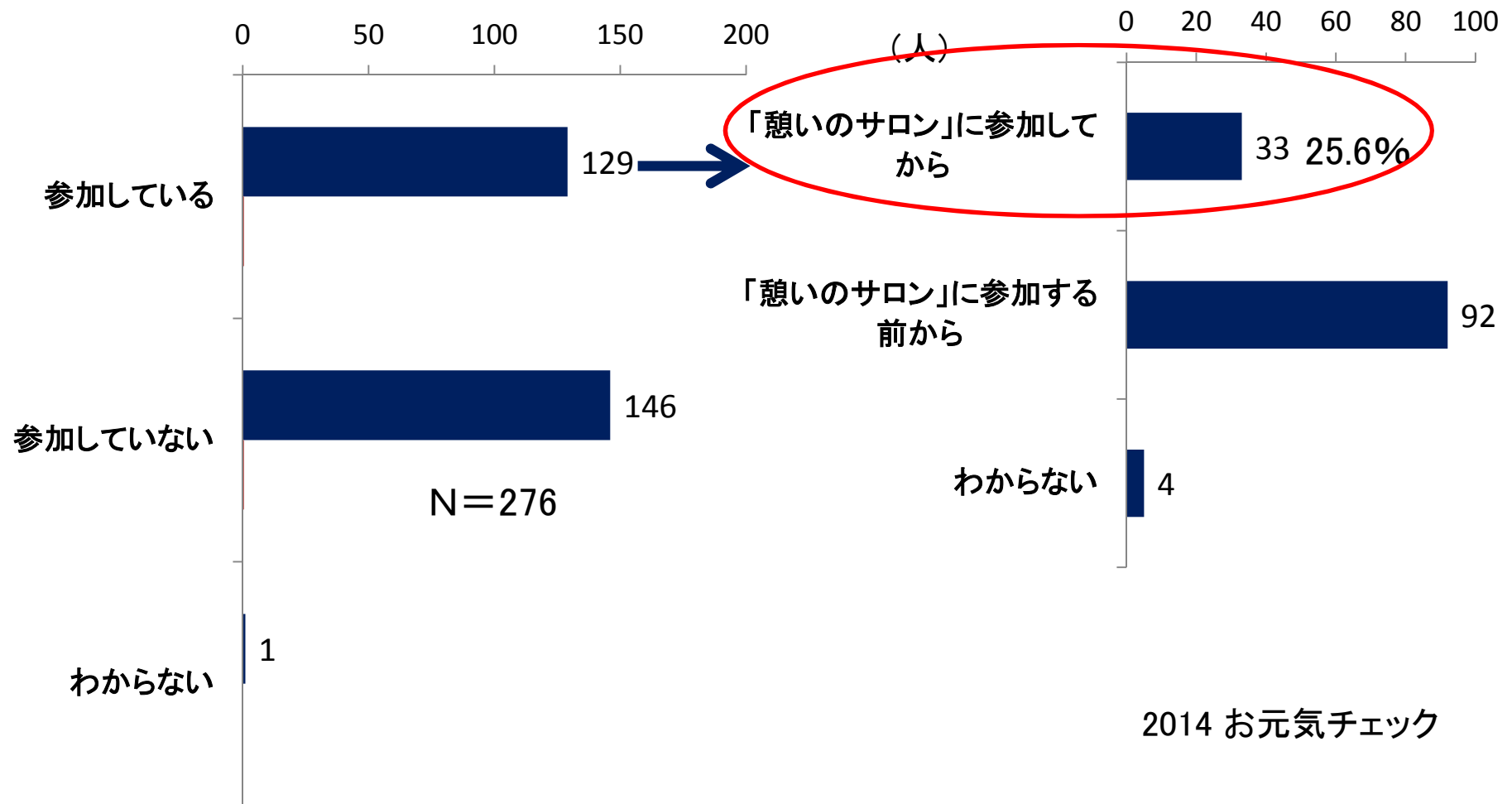
サロン参加とうつの有無別心理社会面（一般参加者）

	参加3年以上			参加3年未満		
	うつなし	うつ傾向・状態	全体	うつなし	うつ傾向・状態	全体
	N=93 %	N=13 %	N=106 %	N=86 %	N=22 %	N=108 %
人との交流が増えた	84.9	84.6	84.9	73.3	72.7	73.1
サロン以外の会へ参加が増えた	68.8	30.8	64.2	53.5	31.8	49.1
気持ちが明るくなった	84.9	84.6	84.9	75.6	90.9	78.7
健康関連の情報が増えた	84.9	84.6	84.9	75.6	63.6	73.1
幸せを感じるようになった	92.5	100.0	93.4	83.7	81.8	83.3
将来の楽しみが増えた	79.6	92.3	81.1	74.4	68.2	73.1
地域には助け合いの気持ちがある	91.4	92.3	91.5	82.6	81.8	82.4
地域の人は信頼できる	90.3	69.2	87.7	74.4	90.9	77.8
健康認知症予防意識高まった	91.4	100.0	92.5	79.1	77.3	78.7

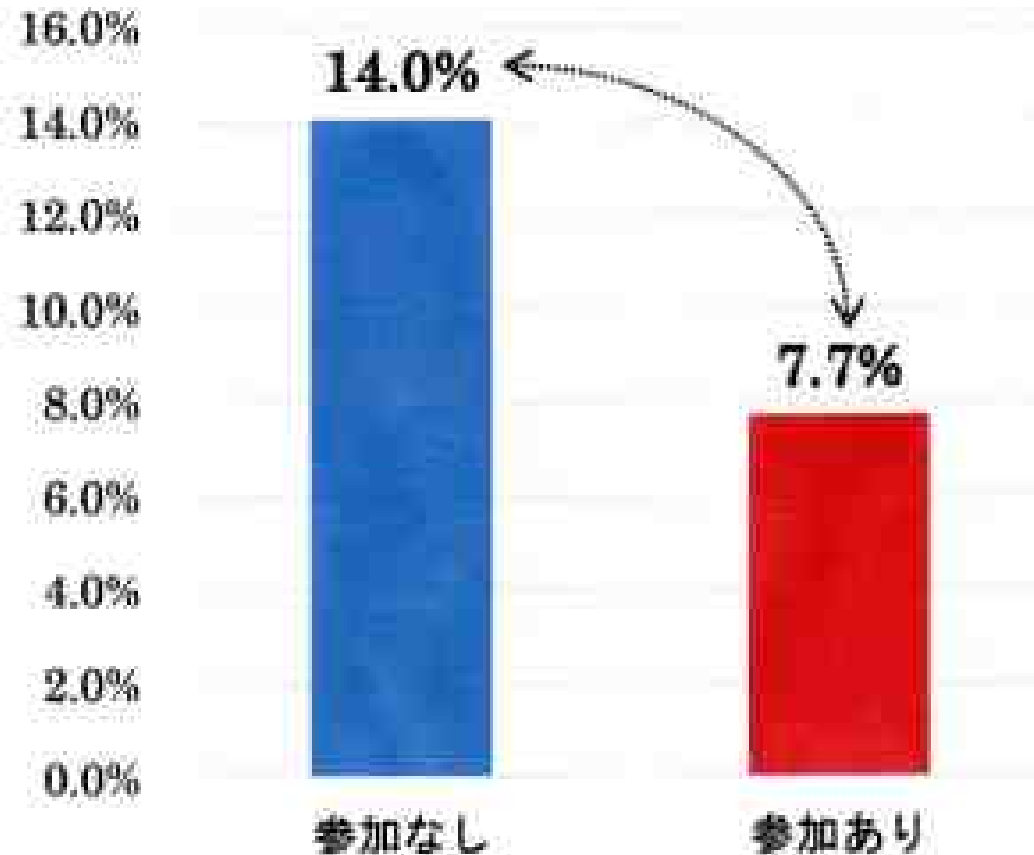
注：各項目の数値は、それぞれサロン参加で「そう思うようになった」割合を示す

2013年お元気チェック

スポーツの会・グループへの参加



サロン参加と要介護認定



愛知県武豊町

介入観察研究

- ・2007年65歳以上2,490名
- ・2012年3月まで5年間追跡
- ・サロン参加有無別での
認知症を含む要介護認定割合
- ・サロン参加 521名: 7.7%
- ・サロン非参加 1,969名: 14.0%

Hikichi, et al 2015

注 3回以上参加した人のみを「参加者」と見なしている（2回以下の参加者は「参加なし」に分類）。
分析対象は一般参加者のみで、ボランティアは含まれない。

まとめ

- ポピュレーション戦略による住民が運営主体の武豊町における憩いのサロンの背景と経緯、これまでの波及効果を含む介護予防効果の一部を紹介
- 今後は、同じような取り組みを行っている他自治体のデータも検証することで効果の再現性を確認したり、予防効果の大きい活動内容などを明らかにすることが課題